

経営比較分析表

青森県 佐井村

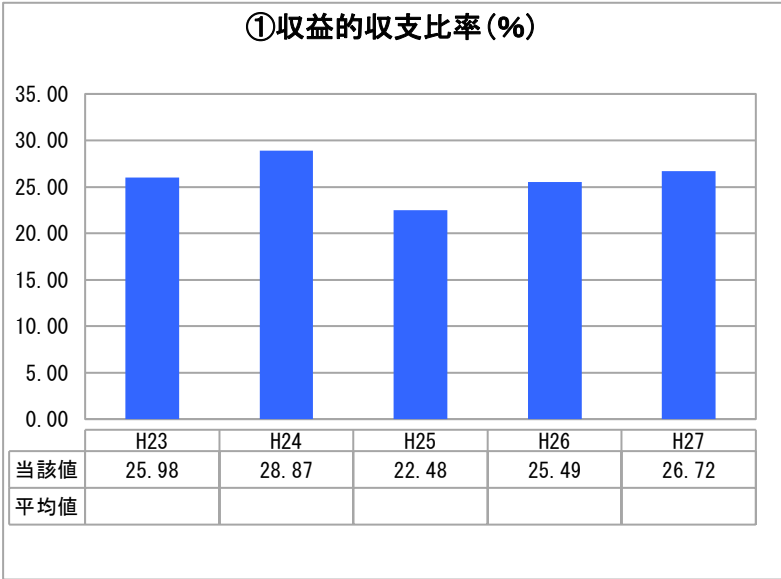
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	60.61	107.81	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,237	135.04	16.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,331	0.36	3,697.22

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



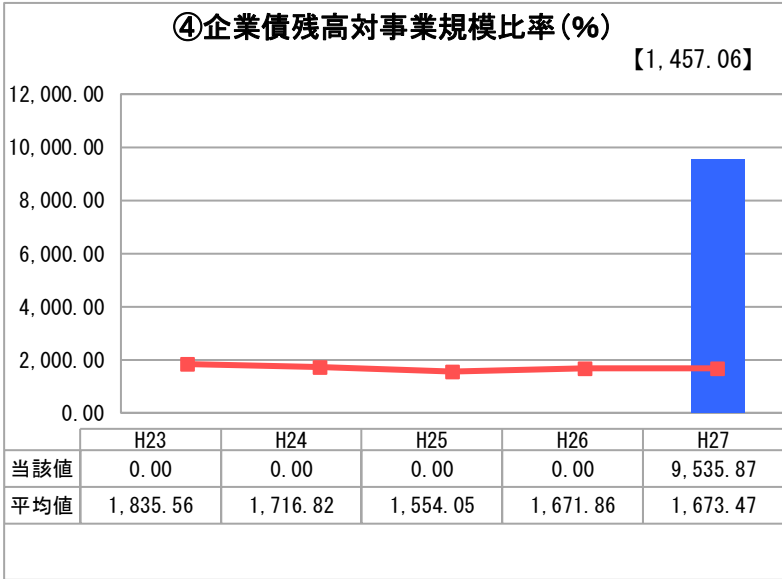
「単年度の収支」



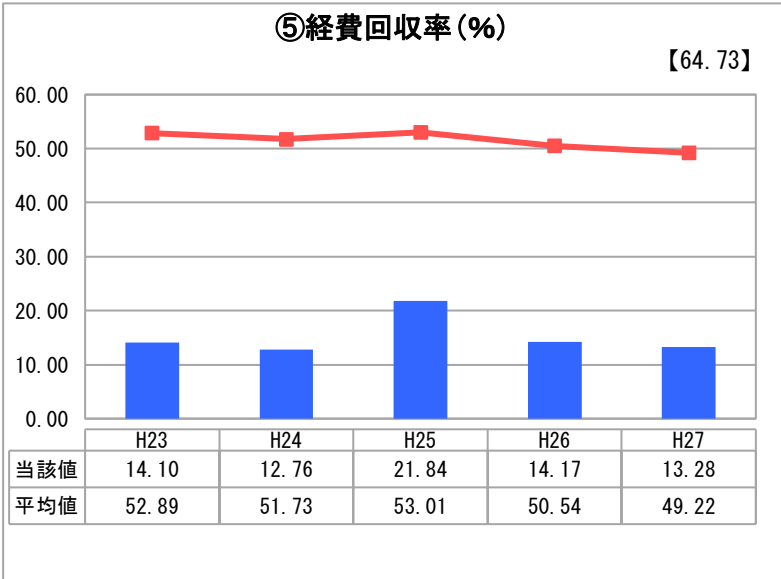
「累積欠損」



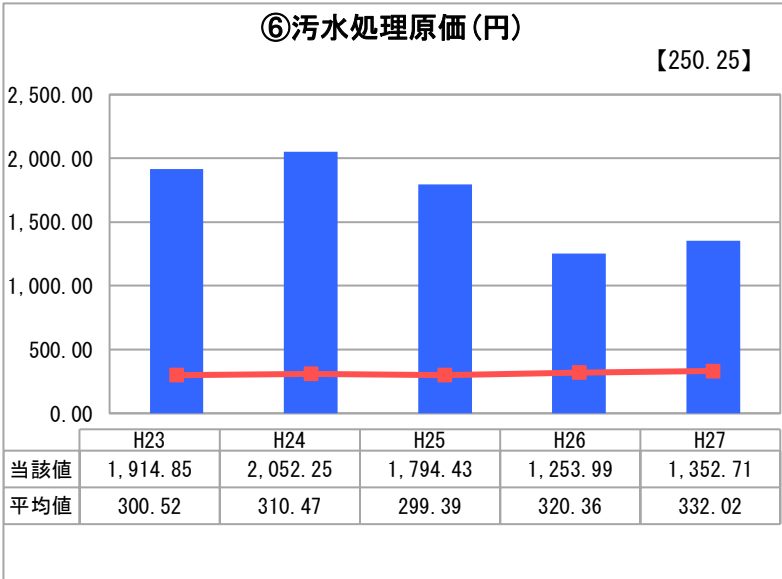
「支払能力」



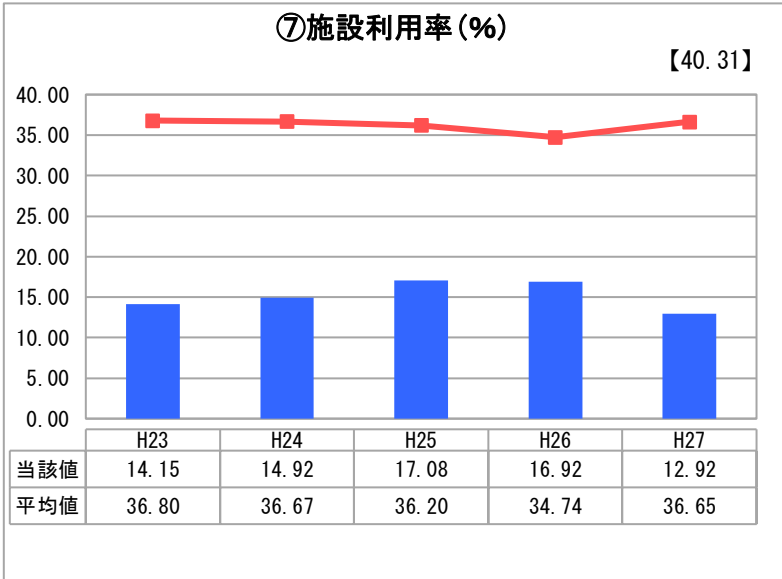
「債務残高」



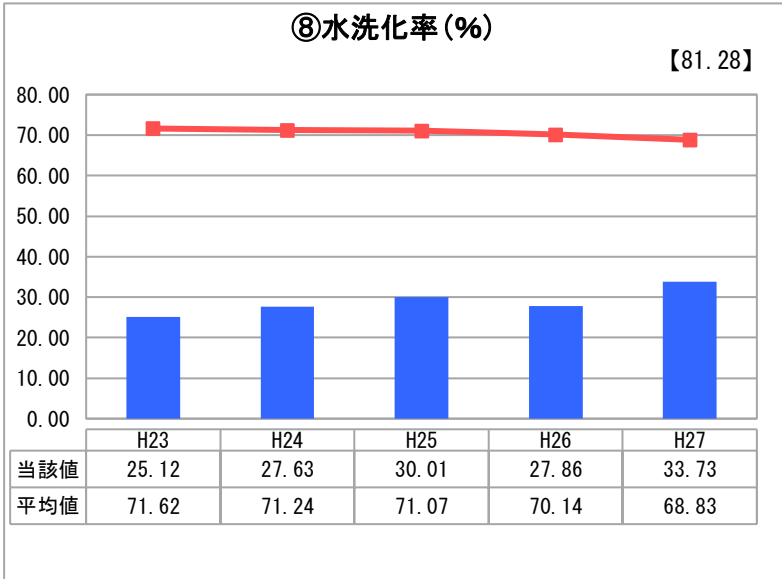
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

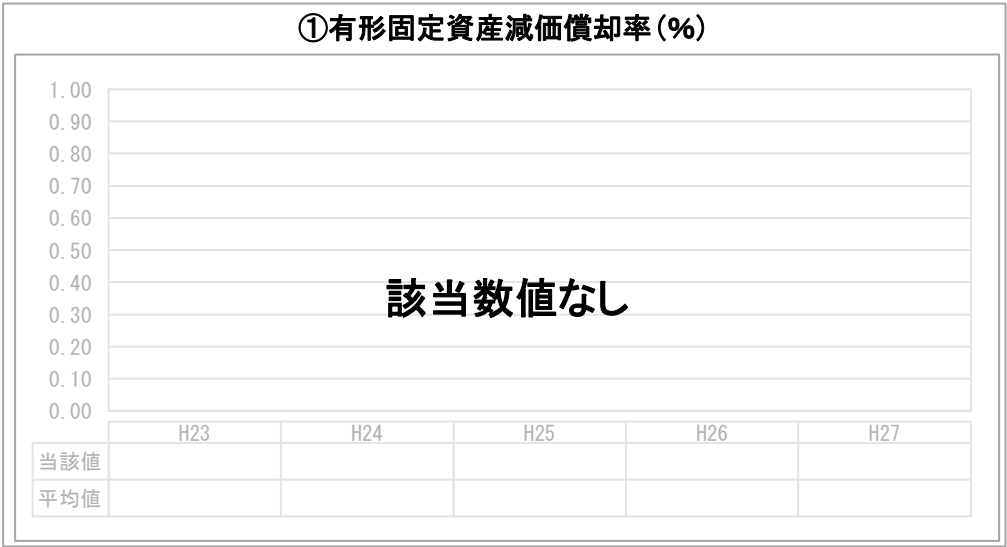


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

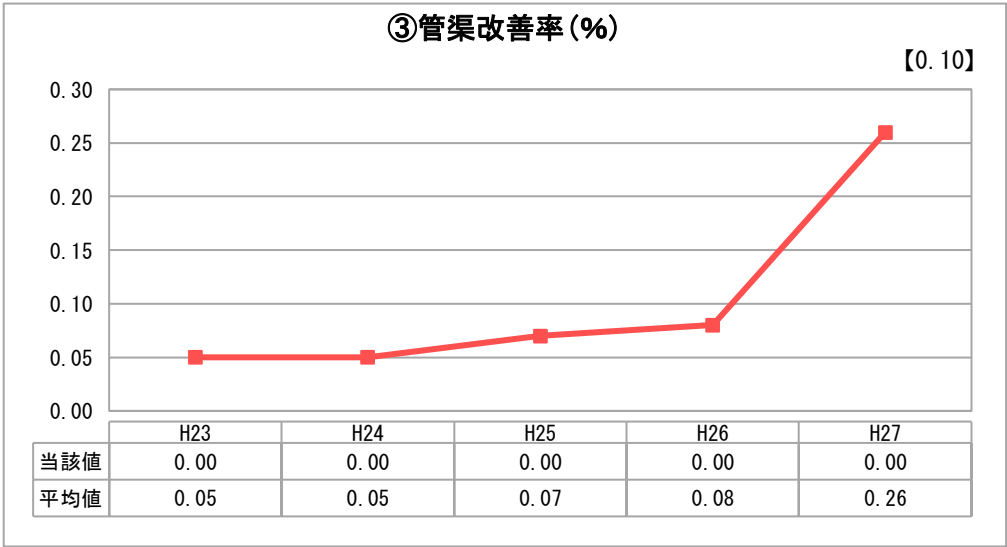
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

1. 経営の健全性・効率性について

特定環境保全公共下水道事業は維持管理・村債償還費用を他会計繰入金より充当しているのが現状である。
また、事業休止してから5年程度経っており、現在は村債の償還ピークである。今後5年程度は平成27年度決算と同様の村債償還が発生すると思われる。

2. 老朽化の状況について

供用開始後から約10年程度経過しており、施設構造物については、極端な劣化は見られない。施設機械設備については連続稼働する設備も存在することから、オーバーホール等の修繕を行わなければならない機器も見られる。

全体総括

供用開始後から約10年程度経過しており、施設構造物については、極端な劣化は見られない。施設機械設備については連続稼働する設備も存在することから、今後は維持管理計画を策定し適切な機器更新等に努めていきたい。
また、維持管理費の低減・下水道加入の促進など各種施策実施するとともに、使用料料金の改定を検討し収益の向上を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。